

平成29年7月3日

日 本 測 地 学 会
会 員 各 位

日 本 測 地 学 会
講 演 会 プ ロ グ ラ ム 委 員 会

日本測地学会第128回講演会の開催及び
講演申込みについて

盛夏の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本測地学会第128回講演会を下記のとおり開催することになりましたので、お知らせします。

講演を希望される方は、下記の申込方法にしたがって、受付期間中にお申込みください。

記

1. 講演会

(1) 期 日 : 自 平成29年10月4日 (水)
至 同 年10月6日 (金)

(2) 場 所 : 瑞浪市総合文化センター
〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町7267番地の4
<http://www.city.mizunami.lg.jp/docs/2014092903895/>
中央本線瑞浪駅から約 800 m

(3) 問合せ先 : 講演会プログラム委員会
prgm(at)geod.jpn.org ((at)を@に変えてください)

2. 講演申込書および講演要旨提出要領

(1) 講演申込書および講演要旨の受付 :
平成29年7月7日 (金) ~8月10日 (木)
(講演申込書と講演要旨は一緒に提出してください。また、この期間以外は受け付けられませんので御注意下さい。)

(2) 講演申込書・講演要旨の作成および提出

(ア) 講演申込書および講演要旨のサンプルファイルの入手

下記URLから、それぞれのサンプルファイルを入手してください。

(インターネットを使用できない場合は、下記(カ)を参照してください)

<http://www.geod.jpn.org/contents/meeting/17FMapl-session-name.xls>

<http://www.geod.jpn.org/contents/meeting/17FMabs-session-name.doc>

なお、ファイル名の“session”，“name”の部分、それぞれ、申込講演区分名、申込者氏名に置き換えて(リネームして)ください。

(イ) 講演申込書の記入

入手したサンプルファイルに必要な事項を記入してください。なお、学生の方は、学生優秀発表賞の審査対象としますので、忘れずに「学生」と明記してください。

(Excelを使用できない場合は、下記(オ)を参照してください。)

(ウ) 講演要旨の作成

講演要旨は和文もしくは英文で作成してください。英文の場合は、和文の講演題目、所属、氏名は必要ありません。

提出された講演要旨をそのまま複写しますので、できる限り、上記URLから入手したサンプルファイルを使用して作成し、PDFに変換したものを提出してください。

(PDFに変換できない場合は、MS-Wordファイルのままでも受けつけます。また、MS-Wordを使用できない場合は、下記(オ)を参照してください。)

(エ) 講演申込書・講演要旨の送付

講演申込書および講演要旨と一緒に、下記メールアドレス宛に、電子メール(添付ファイル)にて送付してください。なお、受信用メールサーバーの制限により、添付ファイルを含めた電子メールの全容量が10MBを超える場合は受信できません。10MBを超える場合は、ZIPなどのファイル圧縮ソフトウェアで圧縮するか、図表のサイズを小さくするなどして添付ファイルの容量を小さくして、電子メール全体のファイル容量を10MB以下にしてから送付してください。

送付先アドレス [submit\(at\)geod.jpn.org](mailto:submit(at)geod.jpn.org) ((at)を@に変えてください)

(オ) Excel、MS-Word が使用できない場合

Excel が使用できない場合は、別紙の「書面による講演申込書様式」を参照して必要事項を記入したテキストファイルを作成し、上記メールアドレス宛に、電子メール(添付ファイル)にて送付してください。

また、MS-Word が使用できない場合は、別紙の「講演要旨記入様式」を参照して講演要旨を作成し、PDFフォーマットにて、同様に電子メールにて送付してください。

(カ) インターネットを使用できない場合

インターネットを使用できない場合は、別紙の「書面による講演申込書様式」および「講演要旨記入様式」を参照して講演申込書および講演要旨を作成し、下記宛にFAXあるいは封書にて送付してください。

〒112-0002 東京都文京区白山1-33-18 白山NTビル (公社) 日本測量協会内
日本測地学会事務局 (TEL:03-5684-3358 FAX:03-5684-3366)

(封筒には「第128回講演会講演申込書・講演要旨在中」と朱書き願います)

(3) その他

- ① 講演者は日本測地学会会員に限ります(招待講演を除く)。
- ② 講演の採否は、講演会プログラム委員会によって判断されます。本講演会の趣旨にそぐわない内容の講演は採択されない場合がありますのでご了承ください。
- ③ 一人あたりの申込数は、口頭およびポスター発表を合わせて、2講演を上限とします(招待講演を除く)。
- ④ 口頭発表の講演時間は、1講演につき15分を予定していますが、講演数などにより変更になる可能性もあります。あるいは、口頭発表からポスター発表への変更をお願いすることもあります。今回はポスター発表の割合を高く設定する予定です。
- ⑤ 講演申込書と講演要旨の講演題目は、同一にしてください。
- ⑥ 講演要旨では、結論を述べるなど、内容の充実に努めてください。
- ⑦ 講演要旨は、1講演2ページ以内としてください。
- ⑧ 2講演申し込まれる方は、1講演ごとに講演申込を行ってください。
- ⑨ 口頭発表の場合は、原則として発表者持参のPCを液晶プロジェクターに接続して行っていただきます。
- ⑩ ご不明な点は、prgm(at)geod.jp.org ((at)を@に変えてください)宛に電子メールにてお問い合わせください。

3. 講演要旨集の事前頒布

講演会開催前に講演要旨集をご希望の方には、事前に頒布を致します(価格は2,000円を予定)。2017年9月15日(金)までに、日本測地学会事務局 (nihonsokuchi(at)jsurvey.jp : (at)を@に変えてください)へ、電子メールにてお申し込みください。なお、講演要旨集は、講演会場でも販売します。

4. 宿泊予約

宿泊予約は各自でお済ませくださいますようお願いいたします。講演会プログラム委員会および事務局は、宿泊に関する斡旋等を行いません。なお、瑞浪駅前に2軒、瑞浪I.C.前に1軒のビジネスホテルがございますが、JR中央本線の各駅付近のホテルもご利用下さい。

東濃地震科学研究所のホームページ (<http://www.tries.jp>)にも情報を掲載する予定です.

5. 企業展示ブース募集について

賛助会員の皆様を対象に、企業・団体展示ブースの設置を行います。学会員にアピールをする良い機会ですので、賛助会員の皆様の出展をお待ちしております。ただし、設置可能なブース数に比較的余裕がございますが、出展の可否については、大会プログラム委員会にご一任ください。なお、出展料は必要ありませんが、出展にかかる費用等は、各出展賛助会員でご負担願います。

出展を希望される賛助会員の方は、講演プログラム委員会 [prgm\(at\)geod.jpn.org](mailto:prgm(at)geod.jpn.org) ((at)を@に変えてください)宛に電子メールにて、8月10日(木)までにお申し込みください。その際、サブジェクト欄に「企業展示」と明記してください。折り返し、詳細等について連絡致します。

6. その他

本公演会の開催及び講演申込等についての案内は、日本測地学会のホームページ (<http://www.geod.jpn.org/contents/meeting.html>)に掲載する予定です.

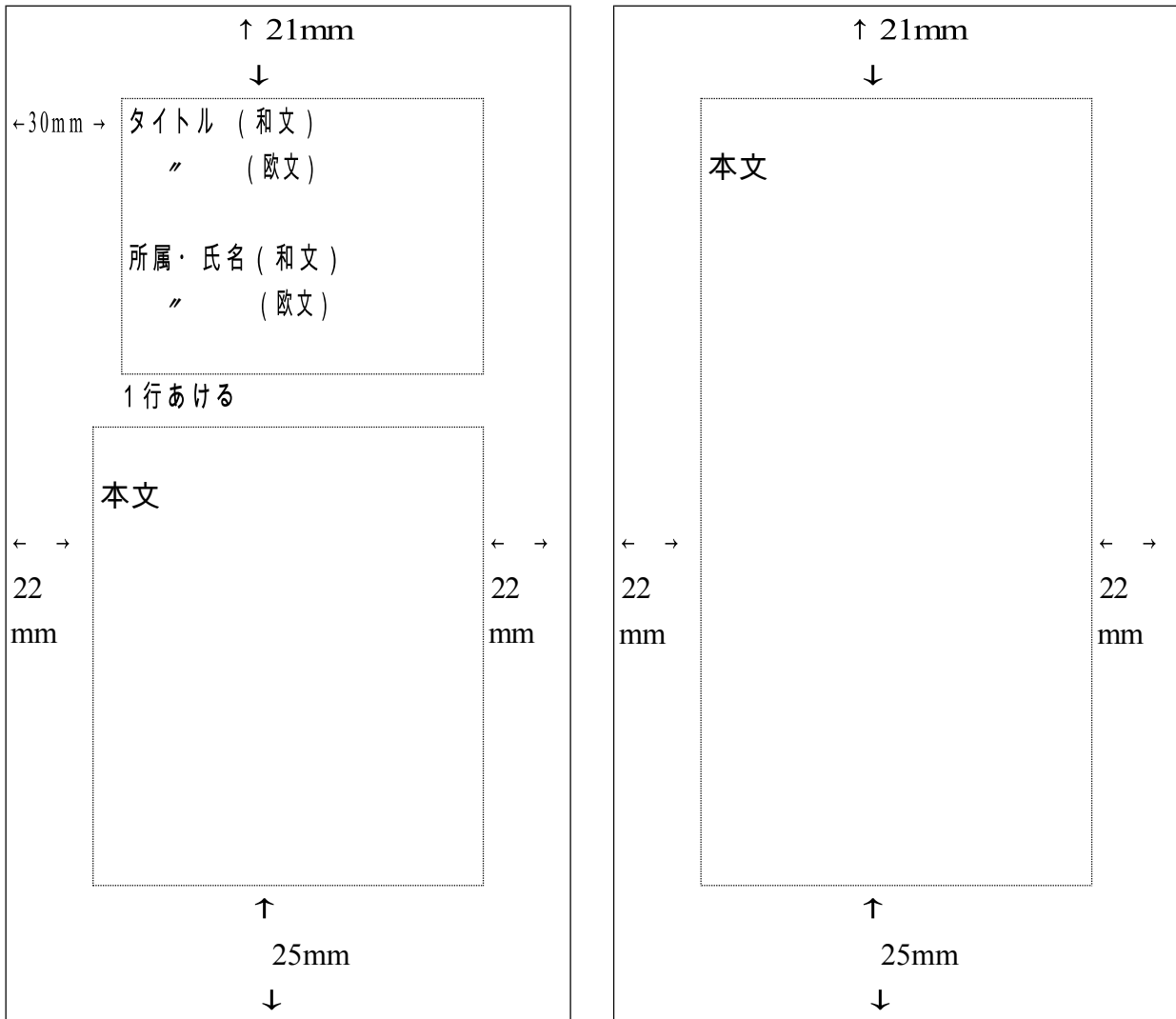
【書面による講演申込書様式】

日本測地学会第128回講演会講演申込書

- ① 申込者氏名
 - ② 所属（講演者が学生の場合は「学生」と明記してください）
 - ③ メールアドレス
 - ④ 電話
 - ⑤ FAX
 - ⑥ 申込講演区分（測地、理論測地、地球回転、重力、地球潮汐、地殻変動、計測技術、海洋測地、惑星測地、南極測地、GNSS、SAR、坪井賞記念講演から一つを選択）
 - ⑦ 発表方法（口頭またはポスター）
 - ⑧ 講演題目（講演要旨原稿と同じにしてください）
 - ⑨ 著者名（講演要旨原稿と同じにしてください。連名の場合は講演者に#印を付けてください）
 - ⑩ 講演時間（15分以内を指定してください）
 - ⑪ 要望事項等（講演順番等）
-

【講演要旨記入様式】

● A4版縦・横書きで作成してください。（B5版に縮小印刷します）



上記書式に基づいて作成したサンプルファイルが

<http://www.geod.jpn.org/contents/meeting/17FMabs-session-name.doc>

にあります。

講演要旨は原則として、電子メール（添付ファイル）にて下記メールアドレス宛に送付してください。

送付先アドレス submit@geod.jpn.org （全角@を半角@に変えてください）

ファイル形式は、PDF形式（やむを得ない場合はMS-Wordファイルも可能）をお願いします。

印刷は白黒なので、白黒印刷で内容がわかる図を使用してください。欧文の場合は、和文の講演題目、氏名・所属は必要ありません。